

事務事業名	市民会館施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	14	細目	001	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 43 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民会館の清掃、警備、舞台、受付窓口業務などの総合管理委託を行うとともに、施設・設備の修繕を実施することで利用者の利便性を確保し、市民へ音楽・演劇等の発表と鑑賞の場を提供する。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	藤沢市民会館条例・施行規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律 等					
事業実施内容	市民会館の施設利用者の利便性の維持や文化芸術の発表及び鑑賞の場の提供等を目的とし、以下のことを実施した。 ・舞台業務、受付、警備、清掃など運営管理の委託 ・施設、設備、機器等の整備と修繕 ・施設管理予約システムの運用 ・庭園、旧近藤邸の維持管理						
事業実施手法 (該当するものに全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市民会館サービス・センター(株), (福)ひばりハートピア湘南 等) (委託等内容 : 市民会館舞台・設備・受付等の業務, 市民会館の外まわり除草・清掃 等) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益財団法人藤沢市まちづくり協会, 全国公立文化施設協会 等) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 336,688 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	42,581 千円	光熱水費, 物品修繕, 施設修繕, 消耗品 等
		使用料及び賃借料	9,162 千円	施設予約管理システム, 大ホール舞台照明調光操作卓賃借借 等
		委託料	212,722 千円	市民会館舞台・設備・受付等業務委託, 外まわり除草・清掃業務委託 等
		負担金補助及び交付金	51,438 千円	奥田公園駐車場負担金, 全国公立文化施設協会年会費 等
その他	20,785 千円	還付金, 手数料, 通信費, 保険料, 原材料費		
財源内訳	R2年度 支出済額 336,688 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	29,313 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (光熱水費実費収入, 奥田公園駐車場利用料金納付金)	9,166 千円			
一般財源	298,209 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	2.00 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	2.00 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.90 人
---------------	--------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	374,568	368,407	372,218	366,894			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	362,422	355,882	359,437	354,744			
	事業費(支出済額)	341,155	334,683	338,056	336,688			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	21,267	21,199	21,381	18,056			
	①常時勤務職員等の給与等	20,282	20,167	20,110	15,718			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,256			
	③退職金相当額	985	1,032	1,271	1,082			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	12,146	12,525	12,781	12,150			
	①減価償却費	12,699	12,762	12,762	12,762			
	②退職給与引当金繰入額	-553	-237	19	-612			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	876.18	427,501	858.12	429,317	859.51	433,060	843.20	435,121

成果実績	指標名	施設稼働率 (大・小ホール, 第1・2展示集会 ホール平均)	目標	90	単位	90	単位	90	単位	90	単位
				%		%		%		%	
	実績	87	単位	87	単位	83	単位	42	単位		
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			4,327,764.30	4,233,103.53	4,510,093.30	8,756,420.05					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	開館から50年以上が経過し、老朽化や機能低下が進んでいる。快適な利用環境を維持するための修繕を要する箇所が増加傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症の影響により施設稼働率が大幅に減少している。
(2) 課題解決のための今後の取組	日頃から点検・保守を行い、優先順位をつけて修繕を実施し、利用環境を維持するとともに、手指消毒や換気等を徹底することで安全な施設として認識していただく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民会館を良好な利用環境に保つことで、利用者が安心して文化活動を行うための場と鑑賞する機会を提供することができた。また、施設予約システムを運用することでホールや会議室等の貸館業務を円滑に行うことができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市民会館の再整備を予定する中においても、文化芸術活動の場として良好な利用環境や利用者の安全確保を図る必要があるため、今後も適切な施設管理を行っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	市民会館管理・運営に関すること	有	有		1
4	市民会館の優先確保に関すること	有	有	1	1
5	市民会館の使用に関すること	有	有	1	1
6	市民会館の使用料に関すること	有	有	1	1
7	施設予約管理システムに関すること	無	有	1	
8	目的外使用に関すること	無	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南台文化センター施設管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	001	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者が、快適な環境で施設を利用し、サービスを受けられるよう指定管理者による運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律 等					
事業実施内容	湘南台文化センターの施設運営を指定管理者制度により実施した。また、令和3年度からの指定管理者の選定を行った。 ・施設全般の効率的な維持管理及び修繕 ・舞台設備等の賃貸借 ・子ども達の創造性や豊かな人間性を育む場としてのこども館の運営 ・市民の文化芸術鑑賞の場、自主的な文化活動の場としての市民シアターの運営 ・令和3年度から令和7年度までの指定管理者の選定						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 指定管理者 : (公財)藤沢市まちづくり協会・藤沢市民会館サービスセンター(株)共同 ) ( 委託等内容 : 湘南台文化センターの指定管理 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 306,168 千円	事業費節別内訳		主な事業内容								
		費目	支出済額 (千円)									
		報酬	80 千円		指定管理者選定委員報酬							
		需用費	1 千円		消耗品							
		役務費	60 千円		指定管理者選定委員会筆耕手数料							
財源内訳	R2年度 支出済額 306,168 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>1.00人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.00人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人		令和2年度	常時勤務職員※	1.00人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	1.00人工
			令和2年度									
		常時勤務職員※	1.00人工									
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工									
		合計	1.00人工									
費目	支出済額 (千円)											
分担金・負担金												
使用料・手数料												
国庫支出金												
県支出金												
その他 ( )												
一般財源	306,168 千円											

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	421,520	416,156	390,615	381,095			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	355,794	350,315	324,681	314,568			
	事業費(支出済額)	348,061	342,606	316,906	306,168			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,733	7,709	7,775	8,400			
	①常時勤務職員等の給与等	7,375	7,334	7,313	7,859			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	358	375	462	541			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	65,726	65,841	65,934	66,527			
	①減価償却費	65,927	65,927	65,927	65,927			
	②退職給与引当金繰入額	-201	-86	7	600			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	986.01	427,501	969.34	429,317	901.99	433,060	875.84	435,121

成果実績	指標名 施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	261,500	単位 人	264,000	単位 人	266,500	単位 人	269,000	単位 人
		実績	281,077	単位 人	287,513	単位 人	240,881	単位 人	40,516	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,499.66	1,447.43	1,621.61	9,406.04					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設を快適かつ安全な状態に保つため、電気・空調・給排水設備などの日常保守や保守点検を指定管理者を通じて適切に行う必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の影響により施設稼働率が大幅に減少している。
(2) 課題解決のための今後の取組	指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行うとともに、手指消毒や換気等を徹底することで安全な施設として認識していただく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者のノウハウを活用した事業実施や軽易な修繕等についての迅速な対応などにより、市民サービスの向上に資することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	利用者が快適に安心して利用できるよう指定管理者との綿密な連絡調整及び的確な指導を行い、より良い施設となるよう取り組んでいく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	湘南台文化センターに関すること	無	無	1	1
19	湘南台文化センターの指定管理者に対する運営指導	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南台文化センター整備費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	15	細目	002	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南台文化センター利用者の安全確保と利便性向上, 文化センターの機能維持のために修繕等を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市湘南台文化センター条例・施行規則					
事業実施内容	湘南台文化センター利用者の安全確保と機能維持のため, 修繕や設備の賃貸借を実施した。 ・体育館照明設備等の修繕 ・市民シアター音響設備等の賃貸借						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 34,417 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	4,453 千円	体育館照明設備修繕等
		使用料及び賃借料	29,964 千円	音響設備等賃貸借
財源内訳	R2年度 支出済額 34,417 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	34,417 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.15人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	7,350	45,233	31,188	35,526			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,400	44,953	31,488	35,677			
	事業費(支出済額)	5,466	42,062	29,544	34,417			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,934	2,891	1,944	1,260			
	①常時勤務職員等の給与等	1,844	2,750	1,828	1,179			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	90	141	116	81			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-50	280	-300	-151			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-50	280	-300	-151			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	17.19	427,501	105.36	429,317	72.02	433,060	81.65	435,121



成果実績	指標名 施設利用者数 (こども館・市民シアター)	目標	261,500	単位 人	264,000	単位 人	266,500	単位 人	269,000	単位 人
		実績	281,077	単位 人	287,513	単位 人	240,881	単位 人	40,516	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		26.15	157.33	129.47	876.84					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設及び設備の老朽化が進んでいることから、修繕等の必要箇所が増加傾向にある。また、令和2年度2月補正予算で湘南台文化センタープラネタリウム用プロジェクターの経年劣化による映像品質低下に対応するため、プラネタリウム用プロジェクター設置委託を計上したが、機器の準備に期間を要するため、令和3年度予算に全額繰越明許を行った。
(2) 課題解決のための今後の取組	施設及び設備の現状把握を行い、指定管理者と協議しながら計画的な整備計画を立てる。突発的な修繕に関しては、早期の対応が必要かを見極めたうえで対応する。また、繰越明許を行った事業については、4月に契約を行い、10月中旬に終了する予定。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	修繕や設備等の賃貸借を行うことで、良好かつ安全な利用環境を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	経年劣化による施設の老朽化も顕在化し始めていることから、利用者が引き続き快適に安心して利用できるよう、指定管理者と協力しながら施設修繕等を実施していく。また、緊急的な施設修繕については、指定管理者とのリスク分担に応じた対応を原則としつつ、協議のうえで実施していく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	湘南台文化センターに関すること	有	有		1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	文化行政一般事務費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 58 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化行政推進のため、催し物案内ポスター掲示板の維持管理を行う。また、全国規模の発表会等に出場する団体の文化活動に対し賞賜金を交付することにより、文化活動の促進を図る。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等							
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・催し物案内ポスター掲示板の維持管理</li> <li>・発表会出場賞賜金の交付</li> </ul>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 45 千円	事業費節別内訳															
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容													
		役務費	45 千円	催し物案内ポスター掲示板火災・賠償責任保険													
財源内訳	R2年度 支出済額 45 千円	事業費節別財源内訳			<p>3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.10人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.10人</td> </tr> </table>		令和2年度	常時勤務職員※	0.10人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.10人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.10人
			令和2年度														
		常時勤務職員※	0.10人工														
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
		合計	0.10人工														
		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く															
会計年度任用職員(配置数)	0.10人																
費目	支出済額 (千円)																
分担金・負担金																	
使用料・手数料																	
国庫支出金																	
県支出金																	
その他 ( )																	
一般財源	45 千円																

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	2,994	3,004	1,545	1,024			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,069	3,036	2,147	1,024			
	事業費(支出済額)	169	145	1,175	45			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,900	2,891	972	979			
	①常時勤務職員等の給与等	2,766	2,750	914	786			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	134	141	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-75	-32	-602	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-75	-32	-602	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.00	427,501	7.00	429,317	3.57	433,060	2.35	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		主な事業が一般事務経費であるため指標設定は困難である。							
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特定の催し物案内ポスター掲示板の破損回数が多い。 新型コロナウイルス感染症の影響のため、多くの大会が中止や開催方法を変更したため、賞賜金の交付実績がなかった。
(2) 課題解決のための今後の取組	強化ガラスにする等、対応策を検討する。 文化団体の活動を支援するため、賞賜金について有効に運用できるよう検討する。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	催し物案内ポスター掲示板を適正に管理することで文化事業の広報を行い、市の文化事業を周知することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響のため、多くの大会が中止や開催方法を変更したため、賞賜金の交付実績がなかった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も継続して安全に配慮しながら催し物案内ポスター掲示板を管理していくとともに、発表会等に出場する文化団体の活動を支援するため、賞賜金を交付し、文化活動の促進を図る。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	賞賜金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------



事務事業名	市民ギャラリー運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	02	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民ギャラリーの良好な利用環境維持に努めるとともに、来場者が快適な空間で鑑賞できるよう施設の維持管理を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市民ギャラリー条例・施行規則					
事業実施内容	市民ギャラリーの運営・管理を行った。 また、次の事業を実施した。 ・絵本展をみにいこう！ 2020年12月8日(火)～12月20日(日) 入場者数1,605人 ・第2回わたしのすきな絵本展 2021年3月16日(火)～3月28日(日) 入場者数2,720人 HP閲覧数 1,233回(4月末時点) なお、次の事業については新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 ・公民館サークル美術展<中止> ・公民館サークル写真展<中止> ・高等学校美術展<中止>						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,988 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	716 千円	消耗品及び事業ポスター・チラシの印刷
		役務費	102 千円	通信運搬費電信電話料, 施設賠償責任保険・ガラス保険
		使用料及び賃借料	104 千円	インターネット使用料, 複写機賃借料
		償還金利子及び割引料 その他	1,008 千円 58 千円	使用料還付 報酬, 旅費
財源内訳	R2年度 支出済額 1,988 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	980 千円	
		国庫支出金 県支出金 その他 ( )		
		一般財源	1,008 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	5.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	85,803	88,797	39,838	18,181			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	85,929	88,248	40,437	18,182			
	事業費(支出済額)	74,032	74,328	28,402	1,988			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	11,897	13,920	12,035	16,194			
	①常時勤務職員等の給与等	4,610	6,417	4,571	3,930			
	②会計年度任用職員の報酬等	7,063	7,175	7,175	11,993			
	③退職金相当額	224	328	289	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-126	549	-599	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-126	549	-599	-1			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	200.71	427,501	206.83	429,317	91.99	433,060	41.78	435,121

成果実績	指標名	市民ギャラリー稼働率	目標	100	単位	100	単位	100	単位	100	単位
				%		%		%		%	
	実績	99	単位	99	単位	93	単位	30	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		864,078.55		894,229.61		429,288.79		608,060.20		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった展覧会があり、開催することができた展覧会についても、前回と比較して来場者数は減少している。また、市民ギャラリーの貸館としての稼働率についても大幅に減少している。
(2) 課題解決のための今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業取組について検討していく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	第2回わたしのすきな絵本展において、出品作品をホームページで公開し、来場できない方にも作品の鑑賞機会を提供することができた。また、展覧会に合わせて図書館での「絵本の読み聞かせ」を行うなど、図書館との連携を図ることができた。
今後の方針	<p>事業の方向性 <b>現状維持</b></p> <p>本市の文化芸術の振興を図るため、市民が作成した美術作品を展示、鑑賞できる場所を提供することは重要であることから、引き続き事業を実施する。また、ホームページで出品作品の公開を行うなど、様々な方法による鑑賞機会の提供を検討するとともに、引き続き、図書館との連携を図る。</p>

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
15	市民ギャラリーの管理・運営に関すること	有	有	1	
16	市民ギャラリー使用申請・許可業務に関すること	有	有	1	1
17	主催事業に関すること	有	有	1	
18	藤沢市民ギャラリー運営協議会に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 隼人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	収蔵美術資料管理事業費										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	001	説明	05	課等の長	井澤 邦章	電話	6411

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所蔵する美術品、工芸品等を免震・耐火構造・定温・定湿設備を備えた専用の倉庫に保管することで、劣化や毀損を防ぎ、良好な状態に保つ。						
対象	4. その他	市所蔵美術品・工芸品等				2,299 点	
根拠法令等							
事業実施内容	民間倉庫を借り上げ、市所蔵の美術品・工芸品等を適切に保管管理した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 三井倉庫株式会社 関東支社 ) (委託等内容 : 美術品・工芸品等の保管管理 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 4,224 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	4,224 千円	美術品等保管管理委託料
財源内訳	R2年度 支出済額 4,224 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	4,224 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.50人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	3,021	4,269	5,389	6,637			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,046	4,280	5,388	6,637			
	事業費(支出済額)	2,079	3,316	4,416	4,224			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	964	972	2,413			
	①常時勤務職員等の給与等	922	917	914	786			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,573			
	③退職金相当額	45	47	58	54			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	-11	1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	-11	1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.07	427,501	9.94	429,317	12.44	433,060	15.25	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		事業の性質が施設賃借的要素が強いものであるため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	所蔵している作品数も多く、寄贈により作品数が微増傾向にあるため、すべての作品の保管状態を確認するために時間を要する。
(2) 課題解決のための今後の取組	作品の保管管理を効率的にするために、所蔵作品の整理等を行っていく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市が所蔵する美術品・工芸品等を適切に保管・管理することで、価値の減損なく良好な状態を維持することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き適切な管理を継続し、美術品・工芸品等の保管を行っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
20	アートスペースの管理・運営に関すること	有	無	1	1
22	藤沢市所蔵作品の貸出しに関すること	無	無	2	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	文化振興基金積立金										担当課	部課名	生涯学習部文化芸術課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	井澤 邦章	電話	6743

1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	文化芸術の振興を継続的に行うための財源を確保することを目的として文化振興基金へ積立を行う。				
対象	1. 個人	市民			435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市文化振興基金条例			
事業実施内容	文化振興基金への寄附金及び積立金利子を、文化振興基金に積立てた。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	10,362 千円	積立金	10,362 千円	文化振興基金積立金及び積立金利子
財源内訳	R2年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	10,362 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		(文化振興基金積立金及び積立金利子)	10,362 千円	
		一般財源		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.30人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト支出	行政費用 A	12,827	9,145	16,667	12,881			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,852	8,855	16,363	12,882			
	事業費(支出済額)	11,885	6,928	13,448	10,362			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	967	1,927	2,915	2,520			
	①常時勤務職員等の給与等	922	1,833	2,742	2,358			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	45	94	173	162			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-25	290	304	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-25	290	304	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	30.00	427,501	21.30	429,317	38.49	433,060	29.60	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民や団体等からの善意の寄附金に対して指標の設定はできないため。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	文化振興のための財源の一つとして、文化振興基金についてより一層の周知を行う必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	事業実施時などに文化振興基金を周知し、寄附についての呼びかけをしていく。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	一定額の寄附を集めることで、市民が芸術文化に親しむための基盤の強化に繋がった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	文化振興を安定的かつ継続的に実施することを目的として、今後も文化振興基金への積立てを実施していく。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	文化振興基金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------